

〔国際会議開催〕

申請者	東京大学大学院 教育学研究科 教授 山本 義春	2165018
国際会議名称	8th International Workshop on Biosignal Interpretation (BSI2016)	
開催期間	2016 年 11 月 1 日～11 月 3 日	
開催場所	大阪国際交流センター (大阪市天王寺区)	
申請者の役割	会議長	

概 要：

本ワークショップ (WS) は、国際医療情報学連盟 (IMIA) と国際医用生体工学連合 (IFMBE) が共催する生体信号の計測・解析とその応用に関わる学際的な国際会議であり、生体機能の解明や医療診断精度の向上に資する生物医療データの解析、モデリング、評価に関する研究発表の場を提供し、当該分野での国際的な人的交流を促すことを目的とする。第 8 回目を日本で開催するにあたり、米国 IEEE EMBS (IEEE 生体医学工学ソサイエティ)、計測自動制御学会 (SICE)、日本生体医工学会からも共催を得た。

大阪国際交流センターを会場として、平成 28 年 11 月 1 日～3 日の 3 日間開催された。参加者総数は 118 人であり、そのうち海外 12 カ国からの 34 人の参加があった。専門家の査読により精選された 41 件の論文発表、3 件の招待講演、6 名のシンポジストによる特別シンポジウム、34 件のポスター発表が行われた。招待講演として、世界的に著名な 3 名の研究者から、胎児心拍研究、睡眠研究、ブレイン・コンピュータ・インターフェイス研究をテーマとした最先端の計測・信号解析技術とその応用に関する講演があった。加えて、これらの講演に関連した一般演題の発表なども行われ、会議全体を通して活発な議論が行われた。

生物医療データに関わる様々な分野の研究者が一同に会し、最先端の研究成果と課題を共有、さらに多角的な視点から議論を深めることができたことは、当該学術分野の発展に大いに貢献するものであった。また、本 WS で発表された論文から厳選された論文は、加筆されたのちに、さらなる査読を経て、著名国際論文誌に掲載される予定であり、このことも当該分野の発展に大きく寄与するものと考えられる。